

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 土岐商業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月21日(水) 13:30～16:30
- 3 開催場所 土岐商業高等学校体育館・校長室  
開催にあたり、商業科3年生における各コースや担い手事業、2年生総合的な探究の時間における代表生徒による活動報告会(課題研究発表会)を参観
- 4 参加者
 

会 長	藤 田 裕 子	藤田陶器株式会社 代表取締役
副 会 長	鈴 木 辛	東海旅客鉄道株式会社土岐市駅 駅長
委 員	佐 野 栄 子	土岐地区更生保護女性会 理事
	藤 原 誠 司	土岐市土岐口財産区 議長
	松 田 沙 織	土岐商業高等学校育友会 母親委員長

  

学 校 側	服 部 幸 広	校長
	谷 口 嘉 文	教頭
	上 田 剛 也	事務長
	溝 口 美智代	教務部長
	千 葉 かをり	進路指導部長
	近 藤 大 貴	生徒指導部長
	伊 藤 陽 介	商業部長
	河 村 佳 歩	記録

## 5 会議の概要(協議事項)

## (1) 課題研究発表会参観

- ・商業科3年生における各コースや担い手事業、2年生総合的な探究の時間における代表生徒による活動報告会

(2) 令和7年度の成果と課題等について

①学校経営 ②学習指導 ③進路指導 ④生徒指導 ⑤商業科

意見1：土岐商業高校を志望する中学生が予想以上に多いことは、学校の取組や卒業生の活躍の成果であり、非常に評価できる。地域イベントへの積極的参加は有意義である。商業科における課題研究の授業では、現場の声を十分に聞くなど事前に多くの情報を取り入れてから学習を進めることで、高校生の視点から良いアイデアも出ると考えられる。進路指導においては、進学・就職いずれの生徒にとっても人生がかかっているため、目標どおりの進路を実現できるよう支援してほしい。生徒指導の厳しさは、将来的に役立つ面もあり、意味のある指導だと捉えられる。

意見2：SNS発信は中学生の高校選択に大きな影響を与えるため、生徒の感覚や意見をある程度取り入れ、柔軟に運用することで、より魅力的な情報発信につながるのではないかと考えられる。迅速な情報発信を重視し、校長決裁を簡略化して現場に任せている学校運営の方針は合理的である。インバウンドの増加を背景に、英語による基礎的なコミュニケーション能力は今後さらに重要になるため、授業や課題研究を通じてその力を意識的に育成することが必要だと考える。

意見3：アンケートで回答した内容は、実際の生徒の行動（あいさつや地域でのふるまい）とも一致しており、学校評価として妥当だったと確認できた。生徒のあいさつや地域での声かけは全員が完璧ではないものの、全体として良い行動が多く見られ、学校の指導が一定程度行き届いていると考えられる。学業や部活動、検定試験だけでなく、人として正しい行動を取れる生徒を育てている点は、学校教育の大きな成果である。暴漢対応に勇気ある行動を取った生徒の事例は、防犯意識や社会性の育成が学校教育を通して身につけていることを示している。こうした行動を表彰し、全校で共有することは、生徒指導の観点からも意義がある。

意見4：少子化や進学志向の高まりにより、土岐商業高校の定員割れは今後さらに深刻化する可能性がある重要な課題である。その厳しい状況の中でも、先生方が学校運営や魅力づくりに努力していることは十分に理解できる。一方で、教員の時間外勤務が増えすぎることは懸念があり、過度になればブラックな職場環境につながる危険性もあるため、問題点を共有しながら慎重に対応していく必要がある。土岐商業高校は、財産区内で唯一の高校であり、地域住民の福祉の充実という観点からも、なくてはならない存在である。地域でのあいさつなど、生徒の姿勢は学校の存在価値を高めており、今後も地域における土岐商の存在感をさらに高めていってほしい。少子化は避けられない現実だが、定員割れが解消されるよう、引き続き努力を続けてほしい。

意見5：Instagramは学校の魅力を伝える有効な手段であり、今後も積極的に情報発信を続けてほしい。生徒のマナーや身だしなみ、あいさつが行き届いていることは、先生方の指導の成果であり、学校の大きな強みである。土岐商業高校は、子どもや保護者にとって安心して勧められる良い学校である。

6 会議のまとめ

本協議会を通じて、本校の教育活動や生徒の生活態度が、地域や保護者から高く評価されていることを確認した。一方、少子化や進学志向の影響による定員割れは重要課題であり、引き続き魅力ある学校づくりが求められる。特にSNSによる情報発信は効果的であり、生徒の良さが伝わる発信を継続・充実させていく。学習面・進路指導に加え、社会性や規範意識を育てる教育が成果を上げていることを、今後も大切にしていく。また、英語をはじめとするコミュニケーション能力の育成についても、教育活動の中で一層の工夫を図る。教職員の負担にも配慮しつつ、地域に信頼され、選ばれる学校として、持続可能な学校運営に努めていく。